

医師を増やす努力せず、足りないこと前提の地域医療再編

「労災病院なくなると困る」「市民の気持ちわかってほしい」「閉院ありきの話なのか」など市民から切実な声

県が地域医療再編の説明会 9月14日

県福祉保健部は14日、「上越医療圏における医療再編に関する市民説明会」を開催しました。

会場となったレインボープラザには71人の市民が参加し、上越地域の医療再編の方向や、特に問題となっている労災病院の今後について、県の説明を聞きながら、切実な声をあげました。

県の考への説明を行った県地域医療政策課の菊池雅明課長は、「人口構造と入院医療ニーズの変化、それに医師の働き方改革の双方に対応しながら、医療の質を確保・向上していくためには、医師等の医療資源の効率的・効率的な活用が重要」として、地域の中核病院に医師を集中させ、他の病院からは救急や手術の機能を無くすという方針を明らかにしました。

また、新潟労災病院に関しては、「医師数が減少して機能が低下してきているので、1〜2年内に閉院する方向」としました。

これら県の説明では、上越地域の医師が少ないことを前提にしていますが、その根本問題である「医師不足をどのように解消するか」という点には全く触れられていません。

つまり、医師不足を解消する努力はせず、医師が足りないというゆがんだ状態をそのままにして、あちこちに医師を動かすだけの場当たりの対策であると言わざるを得ません。

これでは、私たちの命も健康も守れません。



説明する県の菊池地域医療政策課長

このことには参加した市民から一斉に反発の声があがり、説明会は予定の時間を大きく超過するほどでした。

市民からは、労災病院に関して、次の声が出されました。

- ◇ すでに閉院の方針が報道されたが、市民にはどうしてその前に説明しないのか。閉院ありきなのか。
- ◇ 労災病院がなくなると救急も通院もできなくなる。なくさないでほしい。
- ◇ 労災病院は医師が次々に減ってきたというが、どうしてここまで放置したのか。
- ◇ 労災病院は、整形外科に特化した地域の病院として残る道はないのか。
- ◇ 閉院ありきで進んでいるようだが、夫は労災病院で11回手術した。次にはどこへ行けというのか。市民の気持ちをわかってほしい。
- ◇ 労災病院で命を救ってもらった。なくなると、病院の地域バランスが崩れる。
- ◇ また、医療再編に関しては、次の声が出されました。
- ◇ 救急を2つの病院に集約したら、この広い地域で急性の患者を助けることができるのか。
- ◇ 中央病院に医師を集めたら、他の病院がたいへんになるのではないか。
- ◇ 豪雪の際には、交通が遮断された。そのことを考えての再編なのか。
- ◇ 再編では通院がたいへんになる。それを保障する公共交通の構築を考えているのか。
- ◇ 地域の中核になる病院の中に労災病院を入れることはできないのか。
- ◇ 今回説明したからと言って、次の段階に進めてはならない。県や国の姿勢が問題だ。すぐに結論を出すべきではない。

順番変更のお知らせ・・・9月議会一般質問

上野議員が入院加療のため一般質問を取り下げましたので、順番が変わりました。ご確認ください。

平良木議員

- ◆ 小中学校の特別教室・体育館等のエアコン設置、教室への加湿器設置、学校給食の無料化
- ◆ 生活保護受給者のエアコン購入費補助の条件緩和と電気代補助
- ◆ 離婚後の養育費の立替制度

平良木哲也議員 (26番目)

25日午後の予定

橋爪法一議員 (27番目)

25日午後の予定

橋爪議員

- ◆ 相続土地国庫帰属制度の相談窓口
- ◆ 原子力災害での避難行動・県の3つの検証
- ◆ 通年観光計画策定支援業務委託
- ◆ 渇水・高温による農作物等の被害

再び増加
高水準に

上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

8月21日～8月27日 29.13 (県21.84)

8月28日～9月3日 27.00 (県22.65)

9月4日～9月10日 31.50 (県23.53)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.805 2023年9月24日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))